

所属	一般教育科	氏名	土田 泰子 TSUCHIDA, Yasuko	
分野等	英語	職名	准教授	
学位	博士(学術)	e-mail/URL	ytsuchida@nagaoka-ct.ac.jp	
キーワード	コミュニケーション、メディア・リテラシー、ポスター、英語多読			
研究分野	<p>主にポスターなどの視覚メディアによる表現と受容に関する研究を行っています。特に文字と図像による表現に着目し、その相互作用のメカニズムとレトリックについて分析的に考察しています。広告ポスターだけでなく、学会発表等で使用するポスターについても、プレゼンテーションと効果的なポスター作成という観点から研究を行っています。</p> <p>また、英語多読により継続的な語学学習を行うための試みとして、効果的な導入方法について研究し、学習者が意欲的・主体的に学習を継続できるカリキュラムを検証しています。</p>			
特別設備	<p>本校図書館には英語多読用の図書があります。英語多読は簡単な英語で書かれたものから読み始め、少しずつレベルアップしながらたくさん読むという読書法で、完璧を目指すのではなく、文章を分析しないで大意を把握しながら読んで行きます。読みやすさでレベル分けされた本を利用し、読んだ本の総語数をカウントすることで、目標を持って読む読書法です。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>英語多読コーナー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>学生に人気の惑星シリーズ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>絵本もたくさんあります</p> </div> </div>			
企業に向けて	<p>「伝える」と「伝わる」の間にあるもの、そして「伝わる」の先にあるものについて、メディアという観点から、受容システムという観点から、またコミュニケーションという観点から、検討しています。</p> <p>自社の広報や印刷物、広告について、第三者の視点から分析してみることはとても大切です。自社の特長を的確に表しているか、イラストや写真は適当か、わかりやすい表現を用いているか、連絡先はきちんと書かれているか、などの「伝える」部分が持つ要素に対して、情報の受け手がどのような反応をするのかを考えることは、大きな意味では社会システムの中での自社の位置付けを見直すことにつながります。</p>			
小・中学生・保護者に向けて	<p>英語の本がすらすら読めるようになったらいいなあ、と思いませんか？</p> <p>みなさんは、どんな本を初めて読んだか覚えていますか？小学生になり、学校の図書室や学級文庫でどんな本を読みましたか？中学校の図書館にはどんな本がありますか？日本語の本にやさしい本、難しい本、厚い本、薄い本があるように、英語の本にもいろいろなレベルがあります。いきなり難しい本を読んでも、何が書いてあるのかわからなければ、本の世界を楽しめません。やさしい本をたくさん読むことで、読める範囲を広げていきましょう。少しずつ、をずっと続けていくと、いつのまにか難しく厚い本も、読めるようになります。それが英語多読（えいごたどく）という活動です。興味のある人は、長岡高専の図書館や、長岡市立中央図書館の英語多読コーナーをのぞいてみてください。まずは「読める本」に出会いましょう。</p>			